



# 町村自治

1月 2018 平成 30年

● 発行所 青森県町村会 ● 編集発行人 小笠原 靖介 ● 印刷所 長尾印刷(株)  
〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号(年4回発行) TEL 017-723-1331 FAX 017-723-1347  
ホームページ <http://www.aomori-chousonkai.jp/> E-mail [ack@aomori-chousonkai.jp](mailto:ack@aomori-chousonkai.jp)



## 佐井村牛滝地区伝統行事『おこもり』

佐井村牛滝地区の伝統行事として行われる「おこもり」は、近年、下北地方の冬の風物詩として定番化しており、真冬の夜更けに地区住民が神社のお堂に集まり、「ご飯」や「汁」を食べ続けるという独特の風習で、毎年12月15日と1月15日に行われています。

「12月15日は願掛けで、1月15日は願いがかなった日であり、男が籠っている間、女が食べ物を運んだ」ということを再現したのが『おこもり』です。

【No. 1217】

〔おこもり 佐井村〕



特別区全国連携プロジェクト

- 新年のごあいさつ…………… 2
- 全国町村長大会…………… 4
- 市町村長等特別研修会ほか… 7
- まちづくりへの挑戦 田舎館村…10
- いまが旬！……………12
- 随想 樋口佐井村長……………16



青森県・民間アスチオレーションキャンペーン  
マスコットキャラクター「いくべえ」®



# 新春にあたり

青森県町村会長 関 和典

新年あけましておめでとうござい  
ます。

町村長をはじめ関係各位におかれま  
しては、新春をお健やかに迎えのこ  
とと心からお慶び申し上げますと  
もに、日頃の本会に対する御理解と御協  
力に厚く御礼申し上げます。

現在、わが国は急速な少子高齢化や  
人口減少、基幹産業である農林水産業  
の衰退など極めて厳しい環境下にあり  
ますが、われわれ町村は、自主的・自  
立的に地域特性や資源を活かした様々  
な施策を展開し、豊かな住民生活と個  
性溢れる多様な地域づくりに邁進して  
いかなければなりません。

こうした中、本会は町村が直面して  
いる喫緊の課題に対応するため、要請  
活動等を通し、町村の声を訴えて参り  
ました。

昨年六月には、本会と県、県市長会  
の合同により、県選出国会議員に対し、  
地方創生の推進や地方財政基盤の充

実・強化などの重点施策を説明すると  
ともに、自由民主党並びに関係省庁に  
対し重点施策の要請活動を実施しまし  
た。また、市町村長会議では本会から  
県に対し、町村の課題等を提言したほ  
か、県選出国会議員等に対し、町村の  
安定的な財政運営に必要な一般財源総  
額を確保するための地方財政対策に関  
する要望や、ゴルフ場利用税の現行制  
度の堅持に関する要望など、適時適切  
な要請活動等を実施してきたところで  
あります。

東北新幹線や北海道新幹線、航空機、  
船舶等の交通網を組み合わせた立体観  
光の推進や、町村が持つ豊かな自然、  
文化、歴史、特産品等多彩な魅力の活  
用による交流人口、観光客の増大等を  
図るため、本会では町村が実施する事  
業に対し、県市町村振興協会の支援を  
得て、町村の魅力発信事業への助成を  
継続して実施して参りました。

また、首都圏に向けた広域的な情報

## あけましておめでとうございます

青森県町村会

会 長 関 和典

副 会 長 浜 谷 豊 美

理 事 久 慈 修 一

同 成 田 誠

同 山 田 年 伸

同 三 村 正 太 郎

同 金 澤 満 春

同 三 浦 正 名

発信を推進するため、県内全町村の話題を紹介するテレビ番組を制作し、本年三月に東京の地上波地域テレビ局であるTOKYO MXで放送するほか、特別区長会と市町村が連携・協力した事業を実施し、首都圏との更なる交流を深め、本県町村の振興発展に寄与するものとなるよう事業等に取り組んで参ります。

申し上げるまでもなく、町村が様々な施策を着実に実施していくためには、何よりも地方の自主財源を拡充し、町村の財政基盤を強化することが不可欠であります。

平成三十年度政府予算案における地方財政対策では、一般財源総額が前年度を上回る六十二兆一千億円が確保されましたが、地方交付税総額は三千億円減の十六兆円となりました。財政力の弱い町村にとって、地方交付税は生命線ともいべき極めて重要な財源でありますので、国に対しては今後も地方交付税総額をはじめとする一般財源総額を確実に確保することなどを強く求めて参ります。

また、人口減少の克服と地域の活性化に向け、地方創生をより一層推進していく必要がありますので、我々町村長が地域の最前線で懸命に取り組みとともに、国に対し積極的な支援を求めて参ります。

高い品質を誇るわが県の農林水産物

が、国内外で競争力を持つことはもとより重要であります。一方で、農山漁村に人々が暮らし続けることによって、国土や景観、文化や風土などが維持されておられ、また、農林漁業は、様々な可能性を有し、農村価値の創生を通じて、田園回帰の動きを加速させ、都市と農山漁村が共生する社会を創造することは、人口減少時代に突入した中、活力を維持するためにも重要であります。

このようなことから、グローバル経済に対応し、農林漁業と農山漁村がともに繁栄するため、農林漁業者が将来にわたり意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、農林水産業の振興施策を講じるよう訴えて参ります。

今後とも本会は、町村の活力あふれる地域社会と輝かしい未来の実現に向け、町村長相互の連携を一層強固なものとし、直面する困難な課題に積極果敢に取り組みとともに、県をはじめ全国町村会、関係機関と連携し、山積する諸課題の解決に向けて全力を尽くして活動を展開して参る所存でありますので、引き続き皆様方の御支援と御協力をお願い申し上げます。

町村長をはじめ関係各位の益々の御健勝と御活躍、また地域社会の発展を心から祈念いたしましたして、新年の御挨拶といたします。

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

監事 野坂 充

同 船橋 茂久

同 樋口 秀視

常務理事兼事務局長

小笠原 靖介

ほか 職員一同

青森県市町村総合事務組合

管理者 関 和典

青森県広報広聴協議会

会長 関 和典

全国山村過疎地域振興連盟

青森県支部 支部長 野坂 充

発電関係市町村全国協議会

青森県支部 支部長 関 和典

# 地方創生の 推進を訴える

## 全国町村長大会

全国町村会は11月29日、東京都のNHKホールで全国町村長大会を開催し、県内町村長をはじめ、全国の町村長など約1,300人が出席した。



大会では、荒木全国町村会長（熊本県嘉島町長）があいさつし、「安倍内閣の内政の重要課題である地方創生については、私たち町村長が、現場からの地方創生を日本創生に繋げていくという強い覚悟のもと、地域の最前線で懸命に取り組んでいる。町村長相互の連携を一層強固なものとし、直面する課題、将来にわたる困難な課題に積極果敢に取り組んでいこう。」と訴えた。

この後、大島理森衆議院議長などの来賓あいさつに続き、町村への応援メッセージとして、福島大学教授・東京大学名誉教授の生源寺眞一氏が、参加した町村長等を激励した。

その後、議事に入り、町村行財政をめぐる諸問題解決に向けた十一項目の決議案が満場一致で原案どおり決定された。さらに、全国森林環境税の実現に関する特別決議が満場一致で決定され、三十四項目の大会要望も一括採択された。

### 決議（項目抜粋）

一、東日本大震災、熊本地震

- 一、東日本大震災、熊本地震及び豪雨災害等からの復興の加速化を図るとともに、全国的な防災・減災対策を強力に推進すること。
- 一、一億総活躍社会の実現に向け、地方創生の更なる推進を図ること。
- 一、地方分権改革を推進すること。
- 一、道州制は導入しないこと。
- 一、参議院の合区を早急に解消すること。
- 一、「まち・ひと・しごと創生事業費」を拡充するとともに、地方交付税等の一般財源総額を確保すること。
- 一、ゴルフ場利用税及び償却資産に係る固定資産税を堅持すること。
- 一、農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図ること。
- 一、田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること。
- 一、農林漁業者が将来に希望をもてるよう、TPP・日欧EPA対策に万全を期すこと。
- 一、領土・外交問題・国民の安全保障に毅然とした姿勢で臨むこと。

# 平成三十年度 地方財政対策に関し要請

本会は、十一月十日、東京都内で、総務省及び県選出国会議員に対し、平成三十年度地方財政対策に関する要望を行った。

本会からは関会長はじめ役員町村長十一名が総務省の安田事務次官並びに津島淳衆議院議員、木村次郎衆議院議員、滝沢求参議院議員に面談のうえ、本県の実情を説明し、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額を確実に確保するように求めた。

また、併せて地域振興を図るうえでも不可欠

な財源となつていいるゴルフ場利用税の現行制度の堅持について要望した。



本会役員町村長等と安田事務次官（左から5人目）



本会、岩手県町村会、秋田県町村会は三者合同により、十一月二十九日、東京都のホテルニューオータニで北東北三県町村長中央研修会を開催した。出席者は各県町村長及び事務局局長等七十八人。

研修会では、秋田県町村会の佐々木会長のあいさつに続き、経済ジャーナリストの須田慎一郎氏が「国際情勢から見た日本経済の行方」と題し

## 小型風力発電施設に係る 町村自治振興会議を開催



説明する川嶋課長

本会は十二月二十日、青森市のホテル青森で町村自治振興会議を開催した。

本会議は、町村が抱えるさまざまな課題の解決に向けた調査研究や会議等を開催するもの。今回は小型風力発電施設

設（二十キロワット未満）に関し、住民から騒音等の苦情があり、ガイドラインを定めているものの法的な拘束力がなく、自治体として苦慮しているとの町村の現状を踏まえ、課題解決に向けた今後の取り組みに資するため開催したもので、町村の担当課長及び職員三十七人が出席した。

会議では、はじめに本会から町村における小型風力発電施設の立地状況等調査結果の説明の後、東北経済産業局



講演する須田慎一郎氏

講演した。



事業計画ガイドライン等について説明を受ける

源エネルギー環境部エネルギー対策課の川嶋孝課長から、「再生可能エネルギーの現状と改正FIT法の概要」と題し、説明があった。

また、各町村が抱える課題等について意見交換を行った。

## 平成三十年度 法令外負担金を審査

負担金等委員会



45団体の次年度負担金を審査

本会は十月十一日、青森市の県共同ビルで負担金等委員会を開催した。出席者は関会長をはじめ委員の町村長八人。本委員会は、各町村の非常に厳しい財政状況の中、財政をさらに圧迫する法令外負担金等の負担内容を明確化し、町村行財政の安定と効率的運営を図るため開催するもの。

前年度比増減なし)で、町村負担総額九千三十四万四千四百四十円の回答があり、審議の結果、平成三十年度の負担額は、各団体から回答があった負担額どおり決定した。

また会議では、各法令外団体は新たな視点で目的や事業の抜本的な検討・協議が必要であるとの認識の下、各法令外団体に対し、次の事項を申し入れることとした。

1. 経費節減や予算における繰越金等を含めた団体運営のあり方について常日頃から見直しをし、町村負担金の減額に努めること。
2. 町村負担金は、本会の決定額を上限とし、事業費等の増額に連動し町村負担総額を増額しないこと。
3. 会員市町村数等の減少に伴い、均等割負担金を増額しないこと。また、賦課基準とする数値が減少した場合は、現行の町村負担金を維持するため、賦課基準の単価を増額しないこと。
4. 他団体と統合した団体においては、統合に伴う事務運営の効率化により町村負担の軽減を図ること。

## 医師不足対策で意見交換

町村長と県健康福祉部の意見交換会



菊地県健康福祉部長があいさつ

十二月二十一日、青森市のラ・プラス青い森で県健康福祉部の主催により、医師不足対策に関する町村長と県健康福祉部の意見交換会が開催された。出席者は町村長など三十人。

菊地県健康福祉部長からのあいさつの後、県健康福祉部から本県における医師不足の状況や、医師不足対策に関するこれまでの取り組み、今後の方向性などについて説明が

あった。説明後、意見交換が行われ、町村長らは町村における地域医療の厳しい現状と、医師不足対策の必要性を訴えた。



町村長をはじめ30人が出席

## 平成二十八年年度決算を認定

県市町村総合事務組合

県市町村総合事務組合は、十月十六日、青森市の県共同ビルで第二回組合議会定例会を開催した。出席者は関管理者をはじめ議員等の市町村長九人。

定例会では、議案二件を審

議し、それぞれ原案どおり承認した。

○議案第一号 平成二十八年 度青森県市町村総合事務組合 一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件 歳入総額七億三千八百六十八万四千余円に

対して歳出総額七億二千六百八十八万余円で、歳入歳出差引額一千八百八十万三千余円。

○議案第二号 平成二十八年 度青森県市町村総合事務組合 市町村税等滞納整理特別会計 歳入歳出決算の認定を求めるの件 歳入総額一億二百九十五万五千余円に対して歳出総額八千九百二十一万三千余円で、歳入歳出差引額一千三百七十四万一千余円。



本会は十月十一日、青森市の件共同ビルで第四回理事会を開催した。出席者は関会長をはじめ役員町村長九人。

理事会では、全国町村会表彰規程による自治功労者の推薦など三件の事項を協議した。協議事項は次のとおり。

**協議事項**

○全国町村会表彰規程による自治功労者の推薦について  
自治功労者として一名を推薦する。

○青森県町村会表彰規程による被表彰者について  
自治功労者として百七十名を被表彰者とする。

○県選出国會議員との懇談会並びに平成二十九年度北東北三県町村長中央研修会及び北東北三県町村長中央交流会の

開催について  
懇談会は十一月二十八日、研修会及び交流会は十一月二十九日全国町村長大会終了後に開催する。



**「安倍政権の課題と日本政治のゆくえ」をテーマに講演**  
市町村長等特別研修会

本会は、県市長会、県市町村振興協会との共催により、十月十一日、青森市のラ・プラス青い森で市町村長等特別研修会を開催した。出席者は市町村長や幹部職員等七十二人。  
本研修会は、昨今の厳しい行財政状況の中、人口減少の克服と地域活性化に向け様々な対応が求められていることから、新たな時代に対応する自治体運営の方向性について理解を深め、今後の地域振興につなげるために毎年、開催している。  
研修会では、政治アナリストの伊藤惇夫氏が「安倍政権の課題と日本政治のゆくえ」と題し、講演を行った。



伊藤氏が講演

伊藤氏は、「ついに衆議院が解散となった。まさかこの時期とは私も想定外」と延べ、解散・総選挙に伴う各党の動向などについて解説した。

**町村の自慢のグルメ・物産が大集合！**  
町イチ！村イチ！2017

十二月二日、三日、全国の町村が一堂に会し、特産品や

観光資源等の「宝」をアピールすることを目的として、全国町村会主催のイベント「町イチ！村イチ！2017」が、



ステージで町のPRをする金澤大間町長と「かもまーる」

今回は、全国九

百二十七町村のうち、三百四十一町村(本県十二町村含む)が出展し、二日間で四万八千人の来場者があった。展示・販売コーナーには全国各地の特産品が出品されたほか、「町イチ！村イチ！食堂」での郷土料理の販売や、ご当地キャラクターの出演、郷土芸能・パフォーマンズの披露など、それぞれの出展町村が「イチ押し」を披露した。



賑わう展示・販売コーナー

# 町村長選挙結果

今別町長

なかじま  
中嶋

ひさあき  
久彰氏



任期満了に伴う今別町長選挙は、十月一日、投票が行われ、新人の中嶋久彰氏(62)が初当選を果たしました。  
〔略歴〕町商工会会長、町消防団副団長

蓬田村長

くじ  
久慈

しゅういち  
修一氏



任期満了に伴う蓬田村長選挙は、十月二十九日、投票が行われ、現職の久慈修一氏(67)が再選を果たしました。  
〔略歴〕村建設課副参事、村議会議員

鱒ヶ沢町長

ひらた  
平田

まもる  
衛氏



任期満了に伴う鱒ヶ沢町長選挙は、十二月三日、投票が行われ、新人の平田衛氏(58)が初当選を果たしました。  
〔略歴〕町政策推進課長、つがる西北五広域連合鱒ヶ沢病院事務長。

## 青森県町村長等名簿

平成29年12月27日現在  
町村数30町村(22町8村)

町村		区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町		船橋茂久	S24. 7.17	2	31.11.14	山田光昭
	今別町		中嶋久彰	S30. 7.18	1	33.10.12	
	外ヶ浜町		山崎結子	S56. 6.21	1	33. 4.23	宮本一男
	蓬田村		久慈修一	S25. 8. 1	2	33.11. 8	
西郡	鱒ヶ沢町		平田衛	S34.11. 1	1	33.12.26	
	深浦町		吉田満	S28. 9. 9	3	32.12.20	菊池雄司
中郡	西目屋村		関和典	S42. 2.24	3	30. 2.25	
南郡	藤崎町		平田博幸	S32. 6. 2	2	31.11.19	五十嵐晋
	大鰐町		山田年伸	S27. 3.11	2	30. 7.21	
	田舎館村		鈴木孝雄	S12. 2.10	4	32.11.17	葛西幸男
北郡	板柳町		成田誠	S28. 3. 4	1	31. 4.29	村上孝夫
	鶴田町		相川正光	S28.10.29	1	30. 8.20	
	中泊町		濱館豊光	S34.10. 3	1	33. 4.23	横野彰吾
上北郡	野辺地町		中谷純逸	S24. 8.16	2	31.10.26	松山英樹
	七戸町		小又勉	S24. 1. 2	4	33. 4.23	似鳥和彦
	六戸町		吉田豊	S25. 3.28	7	32. 1.27	保土澤正教
	横浜町		野坂充	S26. 1.31	4	32.12.11	新渡喜広
	東北町		蛭名鉦治	S34. 9.23	1	33. 4.23	向井正弘
	おいらせ町		三村正太郎	S24.10. 7	5	30. 3.25	
	六ヶ所村		戸田衛	S22. 1.28	1	30. 7. 6	橋本晋
下北郡	大間町		金澤満春	S25. 3. 9	4	33. 1.18	菊池武利
	東通村		越善靖夫	S17. 1. 7	6	33. 4.12	林春美
	風間浦村		富岡宏	S37. 4.27	1	33. 2.18	
	佐井村		樋口秀視	S26. 4.10	1	30. 4.26	
三戸郡	三戸町		松尾和彦	S38. 5. 9	1	32.12.15	馬場浩治
	五戸町		三浦正名	S29. 1. 1	5	31. 6.26	大久保均
	田子町		山本晴美	S39. 4.10	2	32. 1.14	原昌徳
	南部町		工藤祐直	S30. 5.22	5	30. 2.11	坂本勝二
	階上町		浜谷豊美	S31. 8.23	4	33.12.23	沼沢範雄
新郷村		櫻井雅洋	S27. 5.25	1	33. 5.28		

階上町長

はまや  
浜谷

とよみ  
豊美氏



任期満了に伴う階上町長選挙は、十二月十七日、投票が行われ、現職の浜谷豊美氏（61）が四選を果たしました。  
〔略歴〕町議会議員、八戸広域農協理事

# 平成30年

## 町村長の任期満了日

平成29年12月18日現在

（青森県選挙管理委員会HPより抜粋）

町村名	任期満了日
南部町	2月11日
西目屋村	2月25日
おいらせ町	3月25日
佐井村	4月26日
六ヶ所村	7月6日
大鰐町	7月21日
鶴田町	8月20日

梅沢富美男が青森県の全町村PR局長  
「スペシャル！スーパーアドバイザー！」をつとめる  
**特別番組**  
「梅沢富美男のおおもり まち・むら情報局」



- 放送局 TOKYO MX TV 東京メトロポリタンテレビジョンチャンネル9  
※PC・スマホでもリアルタイムで視聴可能です（同局エムキャス）
- 放送日（予定） 平成30年3月毎週土曜日  
午後2時30分～午後3時
- 企画 青森県町村会
- 制作 (株)アール・イー・ビー企画



予告！！現在！撮影中！

- ・青森県全町村の魅力を地元レポーターが総力取材！
- ・梅沢富美男 PR局長のキレイキレイのアドバイスは！！！！
- ・青森県全町村がTV番組で一斉に首都圏に初進出！
- ・青森はりんご！ねぶた！イタコ！まぐろ！だけではないんだぞ！！
- ・地元デープな話題や情報が盛りだくさん！どんだ！



Simon Beck's snow art 「LOVERS EMBRACING (恋人たちの抱擁)」(2017年)

真つ白な雪の世界に幻想的な幾何学模様

日本初のスノーアートで

アートの二毛作を目指す

「冬の田んぼアート」を開催

「田んぼアートの村」として知られる田舎館村では、冬の新たな観光資源として、人の足で雪原を踏み固め、さまざまな幾何学模様を描く「スノーアート」を制作し、雪を楽しむイベント「冬の田んぼアート」を実施しています。

#### スノーアート制作のきっかけ

展望台から見下ろしたときに美しい絵になるように遠近法を用いて植えられている田舎館村の田んぼアートは、その緻密さから国内はもちろん海外からも広く注目されており、春から秋にかけては人口八千人の村に平成二十八年は三十万人以上の観光客が訪れています。村には冬の集客資源がなく、観光の通年化は村にとって重要課題となっていました。このような中、青森県が人材育成事業として

行っていた研修に参加した若手県職員グループが、スノーアートを活用した冬季イベントを発案。県ではこの発案を二カ年度事業として具体化し、アート制作等の条件が整っていた田舎館村の田んぼで、日本初となるスノーアートを核として、雪をめぐるさまざまな体験を提供する新たな冬季観光イベント「冬の田んぼアート」を二〇一六年から県と村の共催で実施しました。

#### スノーアートとは

スノーアートとは、雪原の



田んぼアート「ヤマタノオロチとスサノオノミコト」(2017年)

上をスノーシューと呼ばれる専用の靴で歩き、その足跡で絵を描くというもの。二〇一六年と十七年の二年間は、世界で唯一のスノーアートの





Simon Beck とスノーアーティスト集団 It's OK. のコラボアート

トとして活躍するイギリス人のサイモン・ベック氏が村を訪れて作品を制作しました。サイモン氏は下書きをするともなく、ただひたすら雪の上を歩き回り、約一万㎡の雪のキャンバスに巨大なアートを描きます。一つの作品が出来上がるまでの所要時間は六時間から十二時間。その間、コンパスを持ちトイレ以外の休憩はほとんど取らずに、バナーやチョコチップクッキー、コーラなどで栄養補給をしながら黙々と雪面を踏み固めま

## 自然との闘い

せっかく踏み固めたアとも天候により原形を判断することが難しくなる時もあります。このためイベント期間中はアートのエッジが際立つようにメンテナンスを行います。暖かい日が続くと雪が溶けてスノーアートの輪郭がぼけたり、大雪になるとせっかく踏み固めた輪郭が一晩で消えてしまったこともありまし復元ができない場合は地元有志のメンバーで新しいスノーアートを作りまし。スノーアートは雪が降るとあつという間に消えてしまう芸術作品です。

## 今後のスノーアートを支える有志集団

サイモン氏の制作は当初から二年の予定だったことから、二〇一八年のスノーアートは独自の制作となります。サイモン氏から制作技術の指導を受けた地元有志のスノーアート制作グループ「スノーアーティスト集団 It's OK.」のメンバーが初めてオリジナ

ルのスノーアート制作に挑戦。魅力的な作品を発表しようと、昨年からデザインの検討を続けています。

## 雪を楽しむイベント

冬の田んぼアートでは、昼は晴れ渡った青空と真っ白なキャンバスに描かれた美しい幾何学模様を、夜にはライトアップされ陰影がくっきりした幻想的な光と影のアートを見ることが出来ます。作品のみならず、制作風景やメンテナンス過程もお楽しみいただけます。また、さまざまなワークショップや雪にちなんだ体験プログラムを実施し、冬の田んぼアートは大人から子どもまで楽しめるイベントとなっています。

## 石のアート

また、田んぼアートに次ぐ名物として注目を集めているのが「石アート」です。鈴木孝雄村長の発案で二〇一三年から取り組んだ石アートは、田んぼアートの技術を駆使し、色違いの数種類の小石をアス

ファルトの上に敷き詰めて制作。田んぼアートに併設されており「惜しまれる人」がテーマとなっています。一つの作品の展示期間は二年間で、二〇一七年・十八年の作品は「プリンセス・ダイアナ（故ダイアナ元妃）」。今年は新たな作品も制作される予定です。



ライトアップされ幻想的なスノーアート

## 今後の取り組み

村内には、観光客向けの宿泊施設や商店が少なく、田んぼアートなどに訪れる観光客数に応じた消費効果が得られ

ていない状況にあります。村では今後、観光客ができるだけ長期間滞在するような魅力的なイベントの開催や飲食・宿泊施設などの受入体制の拡充など、集客力を高める取り組みを進め、交流人口の更なる増加を図っていくこととしています。

※冬の田んぼアートのお問合せは冬の田んぼアート実行委員会（田舎館村企画観光課）までお願いします。

また、スノーアートを制作してみたい、応援したいという方はスノーアーティスト集団 It's OK. Facebook をご覧下さい。@snow.artistsok

### 冬の田んぼアート

- 観覧日/平成30年2月9日(金)～12日(月祝)  
※9日のみスノーアートは制作風景となります。
- 時間/9日:10:00～17:00  
10日～12日:10:00～21:00  
※ライトアップは10日～12日の午後5時から)
- 場所/道の駅いなかだて「弥生の里」内  
弥生の里展望所周辺
- 弥生の里展望所入館料/大人300円(中学生以上)  
小人100円(小学生)  
未就学児(小学生未満) 無料



問い合わせ先 平内町教育委員会 生涯学習課  
TEL 017-755-2565

平内町の浅所海岸を基点とする夏泊半島一帯は文化財保護法により、ハクチョウの渡来地として全国で唯一「特別天然記念物」に指定されています。

その生態や伝説、魅力を町内外の方々にPRするために「白鳥ガイド隊(要予約・料金無料)」も活動していますので、ぜひ平内にお越しください。

※ガイド隊の利用案内については、HPまたは担当までお問い合わせください。

○ホームページURL

<http://www.town.hiranai.aomori.jp/index.cfm/8,8792,73.html>

ハクチョウのまち 平内

いまが旬!  
ひらないまち

平内町

東津軽郡



問い合わせ先 一般社団法人 鱒ヶ沢町観光協会  
TEL 0173-72-5004

鱒ヶ沢相撲館では、開館15周年を記念して「大相撲写真パネル・絵皿展」を開催中です。青森市の相撲史研究家・今靖行さんによる貴重なコレクションの数々を展示しています。館内で紹介している相撲の歴史や郷土出身力士の資料などとともに、ぜひご覧ください。

○会場：鱒ヶ沢相撲館（海の駅わんど2階）※入場無料

○期間：平成30年3月15日(木)まで

○開館時間：午前9時～午後4時

鱒ヶ沢相撲館15周年記念  
「大相撲写真パネル・絵皿展」

いまが旬!  
あしがさわまち

鱒ヶ沢町

西津軽郡



問い合わせ先 藤崎町商工会  
TEL 0172-75-2370

「なべワン-グランプリ」とは、各店が趣向を凝らした自慢の鍋料理を一杯300円で販売し、そのグランプリをB-1グルメ方式で決める鍋の祭典です。

昨年は、参加10店舗のうち、「牛すじ煮込み鍋」が優勝しました。今年はどんな鍋が参加するのか、今から楽しみです。

当日は子どもねぶたが出陣するほか、ゲームコーナーもありますので、ご家族やお友達、皆さんお問い合わせの上、ご来場ください!

○日時 2月25日(日) 午前10時～午後2時 ※鍋がなくなり次第終了

○場所 藤崎駅通り

第9回なべワン-グランプリ  
in 停車場通り

いまが旬!  
ふじさきまち

藤崎町

南津軽郡



問い合わせ先 中泊町役場総合戦略課  
TEL 0173-57-2111

雪に親しみ、楽しめるような催しが盛りだくさんの「なかどまり冬まつり」を開催します。その他にも、中泊町の特産物や振る舞いもあります。もしかしたら大型すべり台もあるかも?

昼食にはメバル膳、お土産にメバルチン!、おやつにメバル焼き!とメバルのまちを堪能できます!

ご家族揃ってのお買い物とお食事をお楽しみください!

○日時 1月27日(土)

○場所 中泊町特産物直売所ピュア

2018  
なかどまり冬まつり

いまが旬!  
なかどまりまち

中泊町

北津軽郡

いま旬!

# 野辺地町

上北郡

のへじまち

見晴し良好! 国設野辺地  
まかど温泉スキー場

陸奥湾と下北半島を望むまかど温泉スキー場は、起伏に富んだコースやファミリーゲレンデ、ナイターを備え、ご家族やご友人とのウィンタースポーツに最適です!

また、ナイター付きのクロスカンントリーコースでは無料の貸しスキーセットのご用意も。この冬は、スキー発祥の地、まかど温泉スキー場へぜひお越しください。

○オープン期間

平成29年12月16日～平成30年3月11日



問い合わせ先

[アルペン]・野辺地町 地域戦略課	TEL 0175-64-2111 (内 266)
・まかど温泉スキー場 (冬季のみ)	TEL 0175-64-3138
[クロカン]・野辺地町教育委員会 社会教育・スポーツ課	TEL 0175-64-2119
・あったかハウスまかどの森 (冬季のみ)	TEL 0175-64-0778

いま旬!

# 六戸町

上北郡

ろくのへまち

青森シャモロック ザ・プレミアム#6がフード・アクション・ニッポンアワード2017に入賞

特産地鶏「青森シャモロック ザ・プレミアム#6 (ナンバーシックス)」が、農林水産省主催のコンテスト「第9回フード・アクション・ニッポンアワード2017」にて、全国から応募された1,111製品の中から「入賞100製品」に選ばれました。

青森シャモロックの特別飼育版を「青森シャモロック ザ・プレミアム#6」と名付け、2016年より販売を開始しています。



問い合わせ先 六戸ブランド研究会(六戸町観光協会)  
TEL 0176-55-4495

いま旬!

# 風間浦村

下北郡

かまねのへまち

ゆかい村 風間浦鮫鯨まつり

風間浦村では、寒さが厳しくなる初冬から初春にかけて、大物の鮫鯨が活きたまま水揚げされています。

「ゆかい村 風間浦鮫鯨まつり」では、下風呂温泉郷内の協賛宿泊施設や食堂で鮫鯨鍋はもちろん、極上のあん肝、郷土料理の鮫鯨共合えや鮮度が命の鮫鯨のお刺身などを提供します。

また、2月4日(日)に開催される「風間浦鮫鯨感謝祭」では、鮫鯨雪中切り(伝統的な捌き方)の実演や、鮫鯨鍋を安価で振舞います。

ここ数年、専門店や料亭を中心に評価が高まっている「風間浦鮫鯨」をぜひ堪能してみませんか?

○日時 平成30年3月31日(土)まで

○場所 下風呂温泉郷



問い合わせ先 下風呂温泉旅館組合  
TEL 0175-35-2010

いま旬!

# 階上町

三戸郡

はしかみちよう

階上早生えんぶり祭り

春の訪れを呼ぶといわれている八戸えんぶり。そのえんぶりが始まる前に階上町で春の訪れを感じられる「階上早生えんぶり祭り」。町内にある3つのえんぶり組が一堂に集まり、皆様に一足早く春をお届けします。その他、そばの提供等もごございますので、ぜひ階上町までお越しください。

○日時 2月4日(日) 10時

○場所 階上町わっせ交流センター



問い合わせ先 階上町わっせ交流センター  
TEL 0178-88-2709

# 青森の魅力を実感

## 農水省職員農村研修

農林水産省では、将来幹部職員として農林水産行政を担当する入省後二年目の本省庁在勤職員等を、農林水産業の振興及び農山漁村の活性化に努力している農・漁村へ派遣し、農業や漁業を体験させることにより、農林水産行政担当者としての資質向上を図ることを目的として、農村研修を実施しています。

このたび平成二十九年研修生、要田大地氏、辻本翔大氏、有田智彦氏、中島絵里子氏から、一月月の研修を終え、感想を寄稿していただきました。

農林水産省 消費・安全局  
動物衛生課 要田 大地



鱈ヶ沢町は日本初の世界自然遺産に登録された白神山地区や南東部の津軽富士「岩木山」をはじめとした山々と、日本海、そこへと流れる金のアユが住む川々に囲まれた自然の

豊かな町です。

私が今年の夏に三十日間お世話になった長谷川自然牧場は、この豊かな自然の中で、豚と鶏を化学薬品や濃厚飼料を使用せず、「自然」のままに大切に飼育しています。えさや環境にこだわって作られた豚肉や卵には臭みがなく自然本来の濃厚な味と旨みが満ちあふれているかのようでした。

現在の教科書的な飼育方法ではありませんが、たくさん苦労と試行錯誤の末に、長谷川自然牧場がたどり着いた、動物にも人にも優しい農業は本来の農業のあるべき姿なの

かもしれません。

最後になりましたが、この素晴らしい体験でお世話になった全ての方へ感謝申し上げます。

農林水産省 消費・安全局  
植物防疫課 辻本 翔大



私は八月下旬から九月下旬までの一カ月間、青森県おいらせ町にある(有)柏崎青果で研修させていただきました。柏崎青果は従業員八十名程度でにんにく、長いも、ごぼう、玉ねぎ等を取り扱っており、海外の多くの国に青森県産の農産物を輸出しています。特に農産物の加工については、社長自ら商品開発に取り組んでおり、黒にんにく生産の第一人者として世界黒にんにくサミットを開催するな

ど、アクティブに活動されている姿を拝見いたしました。また、身近でありながら実際に経験することのなかった生産、加工の現場で作業をさせていただき、普段の業務では決して学ぶことができない営農についての考え方を学ばせていただきました。お世話になった皆様から感謝申し上げます。

農林水産省  
政策統括官付 有田 智彦

農林水産省の有田と申します。

私は、十月十日より一カ月間、青森県上北郡東北町にある東北農事組合法人で研修をさせていただきました。

東北農事組合法人は、特産物である大根をメインに、長芋、ごぼう、にんにくの生産を行っており、今年からはタマネギの生産にも取り組むなど大変意欲的な農業法人です。また、生産だけでなく加工・販売も系列会社で行っており、大根の漬け物や黒にんにくの販売も行っています。

東北農事では五十人もの従

業員を雇用するなど地域の雇用を支えており、日々新しい特産品を開発・販売し、地域の活性化に結びつけようという取り組みを続けています。

一カ月間の研修では、大根をはじめ、長芋、ごぼう、にんにく、たまねぎと東北農事で生産に取り組んでいる品目全てに関わらせて頂くことができました。機械を使用する場面も多々ありましたが、手作業が中心であり農業現場の厳しさを改めて痛感しました。

とりわけ、農業への外国人実習生の参入、あるいは農業機械や肥料等生産資材をめぐる問題といった日々霞ヶ関で議論している問題について一カ月の研修を通じ、見識を深めることができました。また、例えば、大根を冷蔵する保管施設が国の六次産業化の認定を受けたものであったり、あるいは、タマネギの植え付けの機械が産地パワーアップ事業を活用したものであるなど、日々霞ヶ関の職場で触れている政策・事業が農業生産の現場でどのように活用されているかを学ぶことができ、大変実りのある研修となりました。

研修期間中には、東北町の若手農業者からなる経営者会議にも参加させて頂きました。

東北農事でも昨年は黒にんにく、今年はタマネギの生産に取り組むなど、明確なビジョンのもと新たなチャレンジを続けており、こうした若手農業者の取り組みが十二分に成果を発揮できるよう、私も国家公務員として日々現場の声と向き合い、今後の業務に活かして生きたいと思えます。

東北町は人口五万人という小さな町ですが、畜産や水産業なども盛んです。

特に、近隣にある小川原湖で捕れるシラウオやワカサギ、シジミ、陸奥湾で捕れるホタテなど一年を通して新鮮な魚介類をいただくことができます。

魅力あふれる東北町に、私もまた折に触れて訪れたいと思います。

農林水産省 水産庁漁政課

中島 絵里子

私は、平成二十九年十月末より、青森県深浦町でマグロ



の加工品を製造する株式会社あおもり海産と、サーモン養殖を行っている株式会社オカムラ食品工業でお世話になりました。あおもり海産では、マグロの様々な部位を使用したユニークな商品の加工を体験し、オカムラ食品工業では、ちようど育てたサーモンを海へ出荷する時期であったため、その作業を体験し、いずれも大変貴重な経験をさせていただきました。また、一カ月の間、深浦漁協組合長のお宅にお世話になり、深浦町の漁業についてじっくりお話を聞くことができました。研修を通じて学んだ水産業の現場を、今後の業務に活かしてまいりたいと思います。今回お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

## ● 共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

## ● 共済掛金と共済金額

共済金額	用途及び車種区分	共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)
A型	対人賠償 無制限 対物賠償 1,000万円 自損事故 1,500万円 限定搭乗者 500万円	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
B型	対人賠償 無制限 対物賠償 無制限 自損事故 1,500万円 限定搭乗者 1,000万円	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

### 町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済(保険)に加入できます

- 町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済(保険)に加入する場合、新規契約と比較して

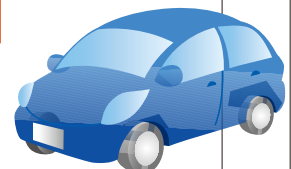
**43%割引(9等級)からスタート！**

- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 保険料分割払(12回)も選択可能です。
- 平成29年1月からロードサービスが自動付帯

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部

青森県町村会業務共済課〔共済事業〕 TEL017(723)1331



万一の事故に備えを！

自動車共済

佐井村長

# 樋口 秀視

プロフィール

村教育長、村総務課長。  
現在 1 期目、66 歳。



## 随想

第36話

### 「真の住民自治」確立で 地域の再生を目指す

本州最北下北半島、通称まさかり半島の刃の部分に位置する佐井村、津軽海峡を目前に北海道の山々が広がり、秘境「仏ヶ浦」をはじめとする観光名所が点在する自然豊かな漁村であります。かつては、北前船の就航により、江戸・京都・大阪との交易が盛んに行われ、特にヒバの積出港として栄え、歴史のロマンが八幡宮例大祭を通じて今もお感じることができます。

また、佐井村と言えば博愛の医師「三上剛太郎」の出身地であります。明治三十八年一月、日露戦争の大激戦中に三上軍医は、仮包帯所に三角巾と赤毛布を縫い合せた赤字旗を掲げました。それを見た騎兵隊は、襲撃を止め包囲を解いて立ち去り、ロシア兵一名を含む数十名を治療しました。この偉業は昭和三十八年スイスジュネーブで開催された赤十字百周年記念国際博覧会で紹介され、世界中の

人々の感動を呼びました。その赤十字旗は、今もなお日本赤十字社青森県支部に展示されております。



平成29年度「赤十字の里づくり推進大会」

さて、佐井村の基幹産業と言えば漁業であります。ウニやヤリイカを中心に豊富な魚種で、小型定置網漁や採海藻を主とした漁業形態でありますが、その漁業の存続が危ぶまれているのが現状であります。高齢化や後継者不足により漁業者が減少し、水産業をはじめ観光分野にも大きな影響を及ぼす恐れがあります。そこで、全国から漁師さんを募集したところ、四人の漁師見

習いが昨年誕生しました。将来は漁業権を取得し、佐井村の漁業の担い手となるべく、現在、船舶免許の取得や網の設置作業など奮闘中です。



後継者として  
卒業した  
高橋君  
の漁師  
佐井村  
の家

佐井村では、平成二十七年十月「日本で最も美しい村連合」に加盟することができました。連合では、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うことと、住民によるまちづくり活動を展開することで地域の活性化を図り、地域の自立を推進すること、また、生活の営みにより作られてきた景観や環境を守り、これらを活用することで観光的付加価値を高め、地域の資源保護と地域経済の発展に寄与することを目的としております。二〇三〇年を見据え「日本で最も美しい佐井村」を実現するため、アクションプランを一つでも着実に前へ進めていきたいと思っております。

平成十九年七月、佐井村では、住民・議会・行政が一緒になって村づくりに参画する「佐井村村づくり基本条例」が制定されました。「日本で最も美しい佐井村」を目指すことは、この条例に息吹を与えるとともに住民自治の形成に重要な役割を持つ条例であることを証明できるものと確信しております。

特に人口減少が進む地域社会において、その減少をストップすることは困難ですが少しでも緩和することは可能であります。

住民が生き生きと幸せな生活を営むために必要なことは、三上剛太郎医師の仁愛の精神である「人にやさしくともに支え合い、共に生きる社会を目指す」そして、誰もが地域づくりに参画できる、住民参加の村づくりを目指すことであると思っております。

「郷土を愛し、郷土を誇り、郷土を育てる」この基本姿勢で、これからも取り組んでいきたいと思っております。

一度、赤十字の里「佐井村」を訪れてみてはいかがでしょうか。